

ひろしま WENET

広島市女性団体連絡会議 広報紙 第34号 2012年11月

目次

- ヒロシマ平和の灯のつどい（報告） 1
- 日本女性会議2012仙台（報告） 2
- 広島市議会女性議員との懇談会（報告） 3
- 広島市女性団体連絡会議（ひろしまWENET）からのお知らせ 4

ヒロシマ 平和の灯のつどい（報告）



ローザ・リムバエワさん

広島市女性団体連絡会議と広島市の共催で、毎年、原爆の日を前にした7月31日に開催している「ヒロシマ平和の灯のつどい」。14回目を迎えた今年は200人余りの市民が平和記念公園に集い、深い祈りをささげました。



道下 涼子さん

この催しに欠かせないのが、旧ソ連の核実験を止めた歌「ザマナイ」です。カザフスタンの核実験場の閉鎖を願い、旧ソ連全体に広まったザマナイですが、今年はこの曲を歌い続けているカザフスタンの国民的歌手ローザ・リムバエワさんが出演されました。ローザ・リムバエワさんと道下涼子さんの交互の独唱が響き渡る中、参加者ひとりひとは、「平和の灯」から点火されたろうそくを手に持ち、平和や核兵器廃絶への願いを込めながら、原爆死没者慰霊碑のまわりを静かに行進しました。

（報告：学習部会 保井 智子）

日本女性会議 2012 仙台（報告）

2012年10月26日（金）～28日（日） 仙台国際センター

私は仕事で危機管理、その中でも、組織の防災、事業継続計画に策定を担当しています。地域の自主防災会や自治体との災害時の緊急物資支援協定締結、防災訓練などに携わっていることもあり、実際被災した場合に女性がどのような立場に置かれるのか、またどういう課題があるのかを学びたいと思い、「日本女性会議 2012 in 仙台」（以下、「女性会議」という。）に出かけました。



奥山仙台市長のあいさつ

大会長である奥山仙台市長のあいさつで始まった女性会議、東日本大震災の被災を乗り越え、長く苦勞して準備され、開会当日を迎えた仙台の皆さんの高揚感を肌で感じ、2007年の広島大会のときのことを思い起こすことができました。また、仙台市長が女性であることで、より身近に、そしてとてもうらやましく感じました。震災前に企画された女性会議でしたが、まだ復興途上ではあるものの、全国に被災地のメッセージを伝える使命があると判断し開催されたとのことでした。



被災地の女性たちが直面した課題などについて報告された特別プログラム

特別プログラム、分科会とも被災地の女性たちが抱えている問題を取り上げ、2日間にわたって議論されました。初日の特別プログラムでは、宮城、福島、岩手などの被災地で活動されている女性たちからの報告により、実際の被災地の女性たちの状況と課題を明らかにし、続いて分科会でその具体策について論じられました。

被災地では、避難所で声も出せず我慢する女性、声を出しても女性リーダーがおらず、その要望が理解できない男性リーダーたち。子どもや高齢者など弱者の命を預かっている人の多くが女性であり、子どもや高齢者を亡くした女性は自分を責め続けているし、周りもそれが当然とするような雰囲気・状況があります。また、時が経つにつれて環境が変化し、男女の役割分担が強化され、大きなストレスと身体の不調を訴える女性が増えていることが明らかになりました。

さらに福島では東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射線被ばくの差別が存在するため、未婚の若い女性たちの将来への不安が大きく、その彼女たちへのフォローが全くないことが指摘されました。そういう中、女性たちは行動し、助け合って多様な活動をしています。現在の防災のシステムにこれらの女性の声が反映されていない実態も明らかになりました。

これらの課題を解決するためには、日ごろから男女共同参画の取組を行政や地域に定着させることが重要で、そのための対策がいくつか提案されています。

たとえば、災害対策基本法で定める県・市町村防災会議には多くの行政職員が参加していますが、局長でないといけないという規定はありません。現状を調査して防災会議に女性を増やすよう要請していく必要があります。また、地域の自主防災会への女性参画の促進にも早急に取り組みたいと思いました。

（報告：広報部会 中嶋 典子）



会場のホールの模様

広島市議会女性議員との懇談会（報告）

広島市女性団体連絡会議（ひろしまWENET）の永年の念願だった、広島市議会女性議員との懇談会を開催しました。今後も議会傍聴をはじめ、女性議員の皆さんとのつながりをもちたいと考えています。

日時：2012年10月1日（月）15:00～16:30

場所：広島市議会 議事堂

出席者：女性議員6名（全員）

村上 厚子さん 中原 洋美さん 安達 千代美さん
馬庭 恭子さん 米津 欣子さん 近松 里子さん
ひろしま WENET 会員23名外

女性議員の自己紹介があり、その後、会員から順次質問が出され、議員さんが質問事項について話される、そのような形で進めていきました。

・女性議員について

女性議員が少ない。世の中半分以上は女性。女性の声をしっかり政治の場に届ける。そして女性の政策もしっかり取り入れる。女性目線で提案する。高齢社会、圧倒的に高齢女性の貧困化が始まっている。年金で暮らせるのか、最後まで豊かで住み慣れた町で暮らしていけるのか。議会の中で女性たちが力を合わせていきたい。

・地域のネットワークづくりについて

女性会、町内会、社会福祉協議会や民生委員を仲間に入れて食事会やお弁当作りをしている。高齢化が進むので、子どもの児童館のような高齢者のシステム、託老館のようなことは考えられないだろうか。老老介護の実態も多い。

・男女の格差について

職場での、男女格差は、国の法律でいろいろ変わってきている。母子世帯は、200万前後の収入。国民全体が貧しい。全体を上げることが必要です。

・特別養護老人施設について

全部の特別養護老人ホームの待ち人数がホームページにリストアップされているが、実数ではない。要介護4・5の人だけでなく、要介護2・3の人も申し込んでいる。市民の声として、施設に本当の待ち人数を公開するよう働きかけてほしい。

・雇用の問題について

国や県が中心となって若い人の雇用、女性の雇用、マザーズハローワークなどをやっている。市は国のアクションプランに手を上げて生活困窮者のためのミニハローワークを区役所に置いている。

・東日本大震災の受け入れなど

被災証明を持っている人には、市営住宅への入居とか、短期間の雇用を行っている。

・文化都市広島について

旧市民球場・旧広大跡地について、都市計画のビジョンを持って10年先100年先を見越した計画が必要だ。

・女性議員のネットワークについて

広島県女性議員クラブは毎年1回、総会と学習会を開催している。市議会女性議員のネットワークも必要だ。

（報告：啓発部会 山本 紀子）

広島市女性団体連絡会議 (ひろしまWENET) からのお知らせ

平成24年度 広島市女性団体連絡会議 役員紹介

役職名	団体名	氏名
会長	広島市地域女性団体連絡協議会	西田 志都枝
副会長	広島市公立保育園退職園長の会 (ももくさ会)	松本 恵和
副会長	I女性会議広島支部	貴田 月美
書記	2000+7・平和	吉光 成美
会計	安芸コスモスソントクラブ	澤野 道子
会計	広島県生協連合会	正岡 尚子
監事	安芸コスモスソントクラブ	小島 智恵子
監事	特定非営利活動法人ひろしま女性NPOセンター未来	中嶋 典子
啓発部長	アルコ・デ・ヒロシマ	山本 紀子
学習部長	一般財団法人広島母子寡婦福祉連合会	柳田 裕美
広報部長	広島市未来を考える女性の会	藤永 雅子

DV防止セミナー

日時：2013年2月16日(土) 13:30~16:00

場所：ゆいぽーと5階 研修室2・3・4

テーマ：「あなたは悪くない ~DV支援の現場から~」

コーディネーター 安田女子大学名誉教授 臨床心理士

シンポジスト NPO法人ふぁみりい

弁護士

広島市配偶者暴力相談支援センター 主幹

川瀬 啓子 氏

理事長 土居 達雄 氏

武田 京子 氏

柳下 良悟 氏

2013国際女性デーひろしま

日時：2013年3月3日(日) 11:30~16:00

場所：ゆいぽーと5階 研修室2・3・4

テーマ：「考えてみよう 女性の幸福度
~だれもが幸せにくらせるために~」

内容：11:30~ バザー

12:30~ 講演(講師：都留 民子氏)・分科会

15:30~ タカノ橋商店街での街頭アピール(行進)

問合せ：ゆいぽーと

〒730-0051 広島市中区大手町五丁目6番9号

TEL 082-248-3320 FAX 082-248-4476

休館日 月曜日、祝日(月曜日の場合は直後の休日でない日)、

8月6日、12月29日~1月3日

開館時間 9:00~21:00 受付時間 9:00~20:00



前回の「国際女性デーひろしま」での講演の様相

WENET ニュース第34号 2012年11月

発行者 広島市女性団体連絡会議(広島市市民局人権啓発部男女共同参画課気付)

責任者 西田 志都枝